

農業委員会だより

平成31年1月1日発行



新年のご挨拶 南三陸町農業委員会会長 遠藤重幸



新年明けましておめでとうございます。

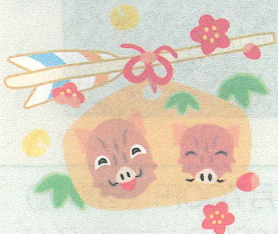
東日本大震災から早いもので7年9ヶ月が過ぎ、平成の年号としては最後の新年を迎えました。

今年は、4月30日をもって現在の天皇陛下が生前退位されて、新たな天皇が即位されると新しい元号に改元される記念すべき年となります。

さて、震災後より施工されてきた被災農地の復旧と圃場整備は、今年の3月で全て完了する予定でしたが、廻館工区の一部だけが来年度の完了予定となり、来年度には全ての整備が終わる事となります。

また、農業委員会も平成28年4月から既に施行されております新制度に昨年の7月20日から移行されました。推薦及び公募で募った候補者を町議会の同意を得て、町長が任命した農業委員9名と新たに設置された農地利用最適化推進委員4名の計13名の新体制となり、従来の法令業務のほか農地の利用集積や遊休農地の発生防止等がより重点化されたところであります。

そのような中で、農家の皆様におかれましては、既に整備済で作付けがなされていない農地での営農の再開をお願いするとともに、農業委員会としても少しでも遊休農地を減らし、担い手に作付けしてもらえよう地域農業の発展と農村活性化に向けて活動を展開して参りますのでご理解とご協力をお願いするとともに、この1年が皆様にとって輝かしい年になることを心から祈念申し上げ新年の挨拶といたします。



トピックス

耕作放棄地を使った藍草の栽培で 里山の課題解決を！

～大好きな南三陸が未来へ続いていくように～



遊休農地を利用した藍草畑（歌津弘川地区）

高齢化や担い手不足などにより、南三陸町でも増え続けている耕作放棄地。そんな里山の課題を楽しく解決していこう！と活動している方がいます。タデ藍の無農薬栽培をしている中村未来さん。東京出身の彼女がなぜ歌津の弘川地区で藍を栽培しているのか、その思いと夢を伺ってきました。



取材に応じてくれた中村未来さんと
愛娘の六花ちゃん

南三陸町に惚れて定住

未来さんは東京出身、大学では建築を学び、建築事務所に勤めていましたが、まもなく東日本大震災が発生。災害ボランティアで南三陸町を訪れ、壊滅状態にあってもそこでまた暮らしを立てていこうと逞しく生きる人々を見て衝撃を受け、早く落ち着いた暮らしが戻るよう自分にできる事をしたい。と考えだしたそうです。ちょうどその頃、建築の仕事に対する考えも変化があり、建築などの物を作るより、まちづくりに興味をもっていた未来さんは、観光協会が募集するプロジェクトに共感し、南三陸町で働くことを決めます。

観光協会での勤務を経てどんどん町が好きになった未来さんは、町の課題を楽しみながら解決していこう！と、2014年6月より有志による活動を開始。まず取り組んだのが耕作放棄地の解消。単に農地の再生を目指すのではなく、その工程でたくさんの交流が生まれることを目標に800名以上のボランティアさんや子どもたちが参加をし、町内外多くの繋がりを生んできました。

最初は野菜を育てていましたが、もっと地域の歴史や文化、人、物を繋げていきたいとの想いで、2015年より藍染の染料、タデ藍の栽培事業「藍監査室」を開始。さらに町の新たな産業になることを目指して、2017年春には「合同会社でんでんむしカンパニー」を設立しました。



藍

みんなで、読もう！ 全国農業新聞 発行日 毎週金曜日 購読料/1ヶ月700円（送料込）
お申し込み・お問い合わせは、南三陸町農業委員会事務局まで【☎ 0226-46-1378 内線371】

なぜ藍草の栽培なのか

日本ではおなじみの「藍色」古くから紫草や紅花とともに、染料として使われてきた藍草は藍色を出すのにかかせない植物。

天然の藍で染めた製品は、空や海のように澄んだ色で心をなごませてくれるだけでなく、虫よけ効果や抗菌作用があるといわれ、古来より庶民の生活の中で活用されてきました。解毒にもよいとされ、漢方として用いられていた記録もあるそう。

しかし、化学染料が生産され始めたことや、染めるために必要な「すくも」づくりに大変な労力がかかる為、次第に天然藍を使った藍染も、すくもを作る「藍師」も、藍草を栽培する藍農家も減少し、現在では大変貴重な存在となっているそうです。

最近、環境にやさしい暮らし方やものづくりに関心の高い人が増え、自然素材の魅力も見直されてきてい

ますが、藍染も再び人気が高まっています。

生活をする中で、町内の素晴らしいものを作る方々と出会い入谷養蚕の歴史や歌津で新たに始まった羊牧場など、素晴らしい素材もあるということを知り、この事業を自分たちだけで完結するのではなく人やもの、地域がつながっていきながら、南三陸らしい一品をつくりたいというのが未来さんの願い。藍はその想いを実現する植物だと考え、無農薬有機にて栽培することを決めたそうです。



ボランティアさんと記念撮影

これからの 未来

藍の栽培だけでなく、染色し、商品もつくり販売しています。さまざまな絞り染めの手ぬぐいは大好評。ひとつひとつ、手染めなので同じものは一つとしてありません。ボタンやヘアゴムなども人気で最近では仙台のお店からも販売させて欲しいとの依頼があるそうです。次は食品としても藍の魅力を伝えたい！と商品開発中。それに向けて生産量を上げるため、藍を栽培してくれる方も募集しています。

農作業に収穫した藍の管理、染色、商品づくりに加え、実はもう一つ大きな事業を進めています。

「古民家再生プロジェクト」長く空き家になっていた払川地区の古民家を借り、自ら設計をし、宿として蘇らせる事業です。地元大工さんの指導を受けながら、たくさんのボランティアさんと一緒に作業し、完成を目指しています。オープンは来年！目標の夏に向けて

現在急ピッチで内装工事を行っています。

南三陸に来て6年、娘を応援したい。と、ご両親も移住、今年1月ご自身もお子さんを産み、人口減少という課題解決にも一役買っています。

働き方の種類がまだまだ少ない南三陸町で、子そだて世代や還暦後のまだまだ元気な世代など、様々な人が働きやすいかたちを実現するために、藍の栽培や加工、古民家の宿を通して、新しいけどどこか懐かしい働き方、暮らし方を模索中。まずはご自身で実践中だそうです。



イベントに出店した藍染め商品等

ひと、もの、地域を「藍」でつなげる。
大好きな南三陸が未来へずっと続いていくように…
未来さんの願いです。

【取材：中島綾子委員】

農業者年金に加入しましょう！ 農業者年金は保険料の額を自由に決められる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせ下さい。【☎ 0226-46-1378 内線371】

農地の形状を変更する場合は許可が必要です！

農地に土を入れたり、取ったりして農地を利用しやすくしたいなど、または農業用倉庫として簡易的なプレハブを置くなどする場合は**農地の現状変更届出書を提出し許可が必要**です！

現状変更する場合の注意事項！

- 1 規定はありませんが、概ね60cm以上の盛り土が発生する場合は届出をお願いします。
- 2 農地の**表土の利用をお願いします**。例えば直接土盛するのではなく表土を取り除いてから、盛土施工し仕上げにその表土を利用するようお願いします。

※2について、震災で多くの農地が被災され、多くの農地の表土が失われました。農業委員会では農地の表土を大切にしようと呼びかけするとともに、これからの現状変更についても、出来る限り表土を確保して施工していただくようお願いすることとしました。

1cmの表土を作るのに1000年を要すると言われるほど貴重な表土です！

農地の現状変更届とは…

農地を農地として利用する場合の届けです。
 農地以外に利用するための届けではありません！
 農地以外に利用する場合は農地法に基づく転用申請が必要です!!

● 農業者年金加入推進 ●

**農業者年金で
生涯所得の確保を！
農業者年金の
加入を考えてみては？**

- あなたの老後生活への備えは十分ですか？
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

農業者年金へは…

- ①国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）
- ②年間60日以上農業に従事
- ③60歳未満 ……………の方ならどなたでも加入できます。

農業者年金の保険料は2万円～6万7千円まで加入者が自由に選択できます。（見直しOK）
加入期間が短くても保険料を増やすことで豊かな老後に備えることができます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

平成最後の新年、皆さんどのようにお迎えでしょうか。会長の挨拶にもありましたが、4月末で現天皇陛下が生前退位され5月1日より新たな年号となります。新年号はどんな年号になるのでしょうか？

また、変わると言えばもうひとつ7月にJAが広域合併により大きく生まれ変わります。こちらは既に名前が決定しており、「JA新みやぎ」の愛称となるようです。農業員会も昨年新体制となり農地利用最化推進委員が新たに4名が選任されました。農業委員9名共々、今年もよろしくお祈りします。

編集委員

- | | |
|-----|----------|
| 委員長 | 阿部博之(入) |
| 委員 | 及川文枝(歌) |
| | 中島綾子(歌) |
| | 星力(戸) |
| | 小山富士夫(戸) |
| | 安部三代治(志) |
| | 阿部長喜(歌) |
| | 元木幸雄(入) |
- (順不同)